



# (第7期) まつもと子ども未来委員会の市への提言報告

令和3年11月30日

11月21日(日)、勤労者福祉センター大会議室で、第38回松本市青少年健全育成市民大会・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムが開催され、市への提言を行いました。この日は、42人の委員のうち、31人が出席して、発表しました。

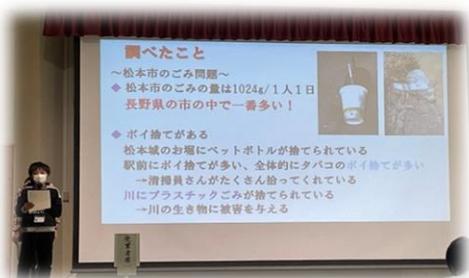
## 1 市への提言

### 【環境グループ】

- **テーマを選んだ理由**  
松本市のごみの量について興味を持った  
環境汚染などで自然が少なくなってしまうことが心配
- **課題**  
ポイ捨てが多いこと 県内のほかの市町村に比べてごみの排出量が多いこと
- **提言**  
マイボトルキャンペーン→マイボトル持参者にステッカーを配布、お店で割り引き  
給水場所の設置 新しく環境のポスターを作る

### 【コロナグループ】

- **テーマを選んだ理由**  
コロナで不安な人たちのことを考えたり調べたりしたかった  
松本市の現状を知りたかった  
心無い言葉をかけられる等の二次被害への対策を知りたかった
- **課題**  
ワクチン接種日が平日だと、学校を欠席・早退しなければならない  
身近で感染者が出ると、感染者について深く調べてしまう  
修学旅行に行けなかったり行き先が変更になったりした、給食の黙食がづらい
- **提言**  
教室に換気扇を設置する ワクチン接種を長期休暇に行う  
リバウンド防止の外出自粛期間を設ける  
自分たちで考える形でコロナについての授業をする  
修学旅行などの変更は子どもたちにも相談をする

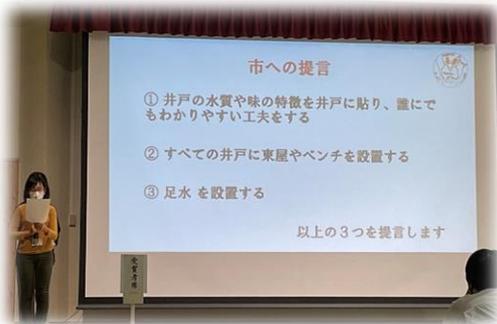


## 【PRグループ】

- テーマを選んだ理由  
松本の観光地＝松本城となっているので、松本の水はきれいだということを多くの人に知ってもらいたいから
- 課題  
水質表がわかりにくい  
井戸の周りを憩いの場として活用できるようにしたい
- 提言  
水質や味の特徴を誰にでもわかりやすくまとめ井戸に貼る  
井戸に東屋やベンチを設置する 足水を設置する（足湯のように）

## 【SNSグループ】

- テーマを選んだ理由  
SNSを利用する機会が増え、同時にSNSに関する問題も増えてきたと感じ、現状を知りたいと思ったから
- 課題  
SNS上のいじめ  
長時間利用したことでの健康被害 個人情報の流出
- 提言  
ネットによるいじめなどの困りごとを相談する窓口を設置する  
勉強できない＝スマホの使いすぎという概念を変える  
SNSの制限だけではなく、正しく恐れることの大切さを教える  
学校などで、目のストレッチをする時間を設けるなど、健康被害の対策を行う



## 2 伊佐治教育長のコメント

松本の未来がみんなのおかげで明るく見えてきました。以前こども部長をしていた時に活動していたメンバーが成長して今日も姿を見せてくれて、とてもうれしくなりました。

【環境】ポイ捨てが多いことは以前からの課題ですが、改善されないのはその取り組みがいかに難しいかということです。こうしたことを変えていくには、市民一人一人の意識が変わらないとだめだということで、そこに難しさがあると思います。

マイボトルキャンペーンはとてもいい取り組みだと思いました。マイボトルを持つことで何かメリットがあるいいのではないかと考え、具体的に考えたのはリアリティがあって良かったと思いました。



松本市は県内の中でも一番ごみの排出量が多いとの発表がありました。これは生活系のごみだけではなく、事業系のごみも多い。松本市は観光客がたくさんやってきて、ホテルやお店が多いということで、ごみが増えてしまうのかなと思います。事業系のごみを減らす取り組みのためにはどんなことが必要なのか一緒に考えてもらえるといいなと思いました。

【コロナ】皆さんの心の叫びを聞いて大変切なくなりました。みんなが伸び伸びと自由に楽しく過ごしてほしいと思っているので、給食の黙食が辛いことや修学旅行に行けなかったことについて、我慢をさせてしまっていることはとても心苦しく思っています。

教室に換気扇を設置する提案については、どれだけ効果があるのかが疑問ですので、効果があるかも含めて検討してみたいと思います。ワクチンの接種を長期休暇にそろえる提案については、5歳～11歳の接種が始まるので、そこに向けて検討していきたいと思います。そして何よりも素晴らしいと思ったのは、コロナはどんな怖さがあるのかを自分たちで考える授業をやりたいということとても心強く思いました。さっそく先生方と相談していきたいと思っています。そして、修学旅行の変更のことについては、選択肢を用意して子どもの意見を聞いてくれた学校もありますので、なるべく意見を聞いてもらうようお願いをしていきます。

【PR】井戸は松本市の大きな魅力の一つです。東屋やベンチの設置はいいアイデアですが、井戸は場所が限られてしまうので、設置するのが難しい場所もあるかなと思います。設置できる場所については、休める場所があれば活用も広がると思いますので、担当の方に検討してもらうようお願いしたいと思います。

【SNS】これは、今、市長や私が一番心配していることで、学校にGIGA端末が配備されました。町田市でGIGA端末を使ったいじめがあり、その子が自殺してしまった事件もありました。発表にもあったようにいじめが起きる原因という、根本的なところに目を向けていくことが大事だと思いました。そして今回提案を聞いて、大人が思いつかないようなことを提案してもらったと思いました。

年代の高い大人はインターネットやパソコンに慣れてないので、

子どもや若者が自ら考えて今回のようにルールを作り、それを若い人に広めてもらうのが一番効果的ということを感じました。

市への提言をたくさんいただきましたが、具体的にできることを考えていきたいと思っています。



### 3 臥雲市長のコメント

最初に感じたのは、発表の声が非常に大きく堂々としていて聞きやすかったことです。人前で話すということは、これからみなさんが大人になるごとに必要な武器になってきます。こういう機会

をたくさん持ってほしいと思います。

また、今回発表してもらった4つのテーマは、市役所で非常に力を入れていかなければならないと考えて、議論などを行っている分野と重なっていました。20年、30年後の二酸化炭素をゼロにするような社会になった時、気候変動や身の回りの生活や交通、エネルギーなどがどう変わるか、そのために今やるべきことは何かということに興味を持つことは、大事なことです。このようなことを勉強の中心においてもらいたいと感じました。

【環境】マイボトルキャンペーンについては、松本市と信州大学で街中に浄水器じょうすいきを設置していく計画が始まりました。人の集まりやすい場所に浄水器を設置し、マイボトルを持参して飲むことを習慣にしたり、市外の人にもおいしさを知ってもらったりする取り組みをしています。マイボトルを活用することでプラスチックに依存する生活を減らし、プラスチックを作る際の二酸化炭素を減らすことで、地球温暖化気候変動を抑えていくことにもつながります。

ポスターを作るといった提案は、子どもたちが作るポスターだからこそ多くの人目が向けてくれると思います。紙のポスターだけではなく、SNSやインターネットを使っての告知というのも考えていったらいいと思います。

ポイ捨てについては、たばこのごみが多いということでしたが、松本市では受動喫煙禁止条例じゆうどうきつえんを制定して駅前周辺では歩きたばこなどを規制しています。松本城周辺も対象区域に指定する予定になっていますが、歩きたばこが無くなりポイ捨ても無くなればと思います。受動喫煙禁止区域を広げていくことも皆さんの声を聴きながら進めていきたいと思っています。

【コロナ】コロナは子どもだけではなく、大人もこの一年半制限をして生活をしてきました。現在は全国的に感染者が減り、松本では1か月以上新規感染者は出ていません。なぜ日本の感染者が急激に減少したのかは世界中で調べられていますが、ワクチンの効果が大きいのではないかとされています。80%以上の人々がワクチン接種を



すると、未接種めんえきの人でも感染しにくくなる。これを集団免疫めんえきといいます。

集団免疫ができて、コロナの感染を抑えられている状況を続けていけば、

この1年我慢がまんしてきた修学旅行などの学校行事を行うことができるのではと思います。

自分たちで考える授業については、何がわかっていて何がわかっていないのか。何が問題で何ができるのかということ、先生たちと一緒にわかっている範囲のことから考えてもらいたいと思います。

【PR】松本市は井戸や地下水が市街地にたくさんあり、生活と結びついています。また、観光客も井戸巡りを楽しみにしている人もいます。十分PRできてないという意見はそのとおりで、観光分野の



職員が井戸の場所や特徴とくちょうをインターネット上でも分かりやすいような

工夫を少しずつ進めています。東屋やベンチは設置のある個所もあると思いますが、ないところもたくさんあります。足水については暑い季節に活用できるのではないかと思います。

松本は、川の水が綺麗きれいなのも特徴なので、川を安全に楽しんでもらうことも市役所で検討しています。川を楽しんでもらうためにはどうすればいいかアイデアをもらえればと思います。

【SNS】1人1台端末ということで、小中学生がタブレットかパソコンを学校で使えるようになりました。悪い方向に使われないようにしなければならない一方で、あまりに危ないとか、悪いということが言われすぎてしまうと、十分に使いこなせない。タブレットは21世紀の便利な文房具として小中学生に使い倒たおしてほしい。SNSの使い方*で*いじめなどに繋つながる危険があることと合わせて、大人も子どももこれまで以上に学ばなければいけません。使い方をしっかり学んで、便利なツールとして使い、勉強こに好奇心こうきしんを持って取り組んでもらえたらなと思います。

最後に未来委員会のメンバーが増えたことはとても良かったと思います。学校や学年の違う松本の子どもたちが出会い、勉強をして市への提言を発表して、また志こころざしを持っていく場になっていけばいいなと思いました。